

## 第 24 期日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会 第 2 回会議録（概要版）

開催日時：2018 年 1 月 21 日（日）13:00～15:10

場所：慶応義塾大学信濃町キャンパス 孝養舎（4 階 405 教室）

出席者：片田、小松、多久和、浅野、井上、太田、田高、菱沼、正木、南、山本、吉沢、西村（記録）

欠席者：寶金、川口、内布、野嶋

資料

- ①健康・生活科学委員会看護分科会（名簿）
- ②第 1 回会議録（概要版・詳細版）
- ③「健康・生活科学委員会分科会（小分科会、小委員会）の設置について（看護学分科会）」
- ④「健康・生活科学委員会分科会（小分科会、小委員会）の設置について（少子高齢社会におけるケアサイエンス分科会）」
- ⑤公開シンポジウムアンケート集計
- ⑥公開シンポジウム「地域創生時代の看護系大学のチャレンジ看護学の変革と課題」チラシ
- ⑦（様式）「学術の動向」特集〇企画案
- ⑧課題別委員会世知提案書
- ⑨APN に関する資料

### 【議題】

#### （1）幹事会の報告等

看護学分科会は、新たなメンバーも含めて委員会の継続申請（平成 32 年 9 月まで）を行う予定であり、本件は出席者全員の賛同を得て申請することとなった。

#### （2）24 期看護学分科会委員について

第 1 回会議以降に検討が為され、岩崎晋也氏（法政大学現代福祉学部学部長・教授、第一部会員）が本分科会委員となることが提案され、承認された。幹事会の決定を待つが委員は計 18 名となった。各班のメンバーは下記の通りである（現状）。

- ・地元創成看護班：南、太田、吉沢、田高、野島、菱沼、山本、西村、（依頼予定：田崎）
- ・高度実践看護班：井上、内布、片田、小松、多久和、浅野、正木、南、吉沢
- ・ケアサイエンス班：小松、太田、寶金、川口、正木、浅野、西村、（岩崎）

#### （3）日本看護系学会協議会との共同主催 公開シンポジウムについて（資料⑤、⑥）

太田委員より、4 地域の大学から看護学の取り組みが報告され、参加者は 110 余名であり、

アンケートも概ね好評であったことが報告された。

小松委員より、広報委員会「学術の動向」編集分科会から、本シンポジウム「地方創生時代の看護系大学のチャレンジ—看護学の変革と課題」を「学術の動向」30年6月号もしくは7月号の特集2記事として推薦を受けたことが報告された。本推薦については受諾し、地域創生班が担当することとなった。

地域創生班の活動の継続のため、綿貫成明氏が特任連携会員として推薦された。

#### （４）少子高齢社会におけるケアサイエンス分科会（資料④）

2月5日の幹事会に、「少子高齢社会におけるケアサイエンス分科会」の設置を申請する予定であることが報告された。申請に当たっては、健康生活委員会が主となるが、臨床医学委員会も本分科会の担当委員会となり、合同で行う予定である。

#### （５）各班からの検討

各班に分かれて検討をした後に、検討事項が以下の通り報告された。

##### 【地元創成看護班】

出席メンバー：南、太田、吉沢、山本、菱沼、田高、西村

（検討事項）

- ・ 班の名称：24期としては「地元（home community）創成看護班」とすることとなった。
- ・ 地元に根差した看護活動の実態を調査し、平成31年3月に向けて提言の作成を進める。

##### 【高度実践看護班】

出席メンバー：井上、片田、小松、正木、多久和、浅野

（検討事項）

- ・ 次年度の9月に提言を出すことを目的とする。
- ・ 日本学術会議主催のシンポジウムの枠において、未来志向の意見を持っている研究者に登壇してもらい討論を行う。
- ・ 次回班会議は3月24日（土）18:00～、慶応義塾大学信濃町キャンパス孝養舎において開催予定である。

##### 【次回の会議開催日程】

5月GW明け頃を予定。